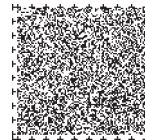


第51号

m o i

モイ!



● 今号のトピック ●

■ シリーズ「つなげるつながる」



今回のテーマは

『野水職員の防災フェスタレポート』

2・3 ページ

■ シリーズ知ってる?

障害者センターの機能訓練室について 1 ページ

■ スマイルインタビュー 石田 史枝さん

今回は、さまざまな講座を受講されている石田さんにお話を伺いました。

4 ページ

シリーズ
知ってる?障害者センターは、障害のある方が地域で暮らしていくための
様々な訓練の相談やアドバイスを行っています

機能訓練

ご利用までの流れ

? こんな相談があります

- ・病院だとできていたのに・・・自宅へ戻ったらうまくいかないことがある
- ・病院では出来なかった電車やバスなどに乗って外出する訓練がしたい
- ・職場復帰を目指して訓練をしたい

医師の決定により、運動療法を用います

相談者
本人・家族
関係機関
(電話・窓口)

見学(来所)

専門職の面接
訓練ニーズの調査かかりつけ医に
よる訓練に対する
意見書提出

医療相談(来所)

センター囑託医
の面談

訓練開始



理学療法

生活動作の改善を図るための運動や交通機関の利用など
実際の生活場面を想定した訓練を行います。

作業療法

日常生活の自立、復職や再就職に向けて職業環境を整え
たり、作業能力の向上を目指して訓練を行います。

言語訓練

言葉に障害のある方に状態に応じて個別、グループでの
訓練をします。個々の利用者が「やりたい」、「やらなければ
いけない」ことを一緒に考え「障害があっても、
希望する生活が送れる」ように個別に必要なプ
ログラム(訓練)を行っています。

- ◆理学療法・作業療法 (土日除く) 午前9時～午後4時
- ◆言語聴覚療法 (土日月除く) 午前10時～午後4時
※どちらも1回100円(減免制度もあり、その場合は
利用料が免除となります)

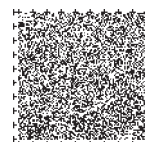
- ◆ 利用できる方は、新宿区内在住で15歳以上65歳未満の心身に障害がある方
- ◆ 原則、病院でのリハビリが終了して間もない方、もしくは終了予定の方が対象となります。
なお、介護保険対象の方は、介護保険サービスが優先されます。既に病院でのリハビリテーション、
訪問・通所・デイサービスを利用されている方は、ご利用できません。

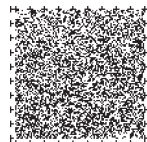
他にも、自宅で行える運動や補装具などの相談や、「杖先ゴム」の販売をしています。
ご相談は、障害をもつ区民の方ご家族ならどなたでも利用していただけます。

新宿区立障害者福祉センター 03-3232-3711

新宿区戸山1-22-2

FAX 3232-3344





新宿防災フェスタレポート

障害者福祉センターから4団体が共同出展！！



さる9月3日(日)に戸山公園にて「新宿防災フェスタ」が開催されました。前日まではあいにくの雨模様でしたが、当日は担当者の祈りが通じたのか快晴に恵まれました。

障害者福祉センターからは新宿トライ工房と新宿区視覚障害者福祉協会・新宿区聴覚障害者協会＆手話サークル・新宿スイッチの4団体が共同で出展。それぞれの特色を活かして「車イス体験コース・アイマスクと白杖体験コース」そして「防災釣堀」などを行いました。
(レポート：野水職員)

車椅子体験コース

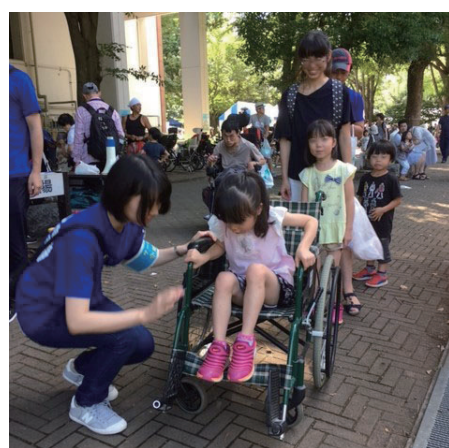


車イス体験コースでは車イスの開け方や閉じ方をはじめ、動かし方や介助時の声かけなどを学んだうえで、スタートからゴールまでのおよそ80mをがれきや看板などの倒壊物が散らばるなか、車イスを動かしたり乗ったりする体験をしています。

ゴール地点では「防災クイズ」にチャレンジして頂き、防災の基本や「被災時の障害者に対する支援」について楽しく学んで頂きました。



お父さんやお母さんと一緒に出～発～。



車イスの準備は大丈夫かな？



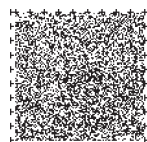
カエルさんも参加してくれました



吉住区長も参加です



車イス体験ゴールの後は皆で防災クイズ…一緒に考えよう！！



アイマスクと白杖体験コース

アイマスクと白杖体験コースでは実際にアイマスクを着けて、スタートからゴールまでのおよそ50mを、これまたがれきや看板などの倒壊物が散らばるなか歩いて頂きました。

ゴール地点では聴覚に障害のある方と身振り手振りでの会話にチャレンジ！



目隠しでも大丈夫。手をつなげば怖くないよ。



矢沢館長と視覚障害者の皆さんも準備万端…挑戦者求む！！



アイマスク体験ゴールの後はジェスチャーを交えて…レッツ、コミュニケーション♪

防災釣堀



お題を引いてその答えとなる防災グッズを釣りの要領で釣ってもらいました。

防災釣堀は子供たちや親子間で楽しみながら防災グッズについて学んでもらうゲームとなっていました。

まずはカードを引いて頂き、その答えとなるものを釣りの要領で釣ってもらいました。

例えば、問題「停電の時にはこれがあると役に立つよ」⇒答え「懐中電灯」や問題「火を消す道具は何？」⇒「消火器」など。



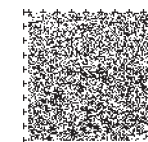
新宿しんちゃんも応援にかけつけてくれました



「車イス体験やアイマスクと白杖での避難体験」にはおよそ320名の方々、「防災釣堀」にはおよそ100名の方々に参加して頂き…とても大盛況でした！！



発案者の坂野さん、とても満ちた笑顔です♪





いしだ ふみえ
石田 史枝さん

センターを積極的にご利用されている方への
インタビューシリーズ第11回目です。
今回は体操から手芸まで、幅広く講座に参加を
されている石田さんにご登場頂きます！

Mo i 今日はおよろしくお願ひします。まず始

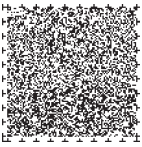
めに、石田さんがセンターに出会った
きっかけを、伺いたいと思います。

石田さん
(以下敬称略)
区報で軽体操講座の募集を見つけたこ
とがきっかけです。

私は視覚に障害があり、運動はした方
がいいと思いつつも、ひとりでウォー
キングや運動は難しいところもあるの
で、申し込みをしました。

Mo i 軽体操講座はいかがでしたか。

石田 先生が体操の組み合わせを考えたり、
私に伝わるように動きを教えてくださいだ
さるので、楽しいです。いろんな方と
お話ができるのもいいですね。



Mo i お話というのは・・・？

石田 センターには障害があっても、いろんな方
がいらつしゃって、声を掛けて下さったり、
様々な話を聞かせてくれます。

同じ障害の方もいますが、違う障害の方と
の交流はなかなか持てないところもあるん
です。

Mo i センターが交流の場になっているんです
ね。

石田 もっとお話をしたいなあと思います。

講座中もみなさん一生懸命で、私も負けな
いぞ！って励まされています。

Mo i 体操講座のほかにも手芸など、たくさんの
講座に参加されていますね。

石田 視覚障害なので、限られるところはありま
すが、自分の手元でなら、補助してもら
いながら、作業をしています。

全く初めて触れるものもあるんです。見
えなくなつてからも、難しいかな？と思
いながらも、やってみてほしいな、楽しそ
うだなと、どんどん挑戦していますよ。

最近羊毛フェルト講座で、ぬいぐるみ
を作りました。



▲石田さんお手製の
クマのぬいぐるみ
パンもふくら

Mo i ほかの講座はいかがですか？

石田 料理講座では、先生が毎回季節に応じたメ
ニューを考えて下さいます。レシピを控え
て、自宅の夕食で作ることもあります。

先生もサポートさんもやさしくて、ほめて
くれるのがうれしいですね。ガイドさんも
センターの講座に私と一緒に来るのが、う
れしいと言っていますよ。

Mo i センターでの出会いも多いですか？

石田 今さっきも同じ講座の方から、声を掛けら
れたり、「今日はこんな服を着てきたの！」
と手を添えてくださいます。

Mo i 声を掛けられるってうれしいですね。

石田 結構勇気がいることだと思うんですが、分
け隔てなく声を掛けてもらえます。

顔を覚えてくださっていて、道端でも遠
くから「石田さん！」って声を掛けられ
ますよ。外に出ているからこそだと思
います。



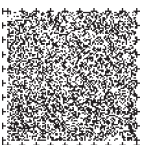
Mo i センターへ期待するものはありますか？

石田 講座であれば、その場に誰がいらつしやる
か、名前を覚えてほしいですね。たくさん
お話したいので。

Mo i 石田さんの大事な交流の場を、作ってい
きます。

石田 同じ障害ももちろん大事ですが、閉じた世
界になつてしまうこともあります。違う障
害の方との交流は、どんな風に接したらよ
いか、私も勉強になります。障害に関係な
く、いろんな話を伺いたいですね。

Mo i 貴重なお話ありがとうございました。



取材を終えて

たくさんの講座に参加され、何事にも熱心な石田さん。どんどん挑戦していく姿が、
明るい笑顔にも現れていると感じます。その笑顔がたくさんの人を引き寄せ、多く
の出会いを生み出しているように思いました。同じ障害はもちろん、違う障害の方
ともお話や交流をされている石田さんから、大きな力をいただきました。